

ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-225879
(P2001-225879A)

(43) 公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51) Int.Cl.⁷
B 6 5 D 83/08

識別記号

F I
B 6 5 D 83/08

データベース (参考)
B 3 E 0 1 4

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-39188(P2000-39188)

(22) 出願日 平成12年2月17日 (2000.2.17)

(71) 出願人 000183462

株式会社クレシア

東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

(72) 発明者 石橋 範之

東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社
クレシア内

(72) 発明者 松原 広明

東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社
クレシア内

(74) 代理人 100063484

弁理士 箕浦 清

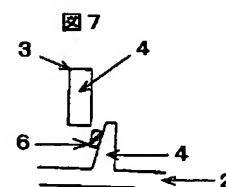
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 密封性を改善したウェットティッシュ包装容器

(57) 【要約】

【課題】 使い勝手が良く、かつ密封性に優れたウェットティッシュ包装容器を提供する。

【解決手段】 ピロータイプのウェットティッシュ封入袋に適用されるプラスチック製の容器又は蓋の取出し用の開口を設けた本体部材とこれを覆うように設置された開閉部材からなっているウェットティッシュ取出口構造において、上記の本体部材と開閉部材の開閉接触部に弾性部材を介在させてウェットティッシュ包装容器の密封性を改善した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ピロータイプのウェットティッシュ封入袋に適用されるプラスチック製の容器又は蓋の取出し用の開口を設けた本体部材とこれを覆うように設置された開閉部材からなっているウェットティッシュ取出口構造において、上記の本体部材と開閉部材の開閉接触部に弾性部材を介在させたことを特徴とする密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項2】ウェットティッシュを収納したピロータイプの封入袋に取出し口を設けこれに粘着ラベルを貼っておき、使用時にこのラベルを剥がし、別のプラスチック製容器の内に前記封入袋を入れたことを特徴とする請求項1記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項3】ウェットティッシュを収納したピロータイプの封入袋に取出し口を設けこれに粘着ラベルを貼っておき、使用時にこのラベルを剥がし、別のプラスチック製の蓋を前記封入袋に直接貼付けしたことを特徴とする請求項1記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項4】弾性部材を開閉部材側あるいは本体部材側のいずれか一方もしくは双方に設けたことを特徴とする請求項1から3までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項5】開閉部材に環状突起を設け、この環状突起と本体部材のいずれか一方もしくは双方に弾性部材を設け、本体部材と開閉部材との間に弾性部材を介して取出し用の開口の開閉接触面を形成したことを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項6】本体部材に環状突起を設け、この環状突起と本体部材のいずれか一方もしくは双方に弾性部材を設け、本体部材と開閉部材との間に弾性部材を介して取出し用の開口の開閉接触面を形成したことを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項7】本体部材と開閉部材の双方に取出し用の開口の閉鎖時に互いに嵌合関係にある環状突起を相対的に設け、両部材の環状突起間に弾性部材を設置したことを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項8】弾性部材は本体部材の環状突起あるいは開閉部材の環状突起のいずれか一方もしくは双方に取付けられていることを特徴とする請求項7記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項9】弾性部材が天然ゴムまたはSBR、NBR、シリコン系、ウレタン系その他の合成ゴムあるいは硬度の柔らかい軟質プラスチックからなることを特徴とする請求項1から8までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【請求項10】弾性部材が硬度の柔らかい軟質プラスチック

クからなる場合、この軟質プラスチック製弾性部材はプラスチック製容器又は蓋の本体部材もしくは開閉部材と一体成型的に形成されていることを特徴とする請求項1から9までのいずれか1項記載の密封性を改善したウェットティッシュ包装容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は使い勝手が良く密封性に優れたウェットティッシュ包装容器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のウェットティッシュ容器包装はピロータイプの封入袋に感圧接着剤等を塗布したシート状の開閉蓋を設けたものが多用されている。この方法は気密性の点では優れているが、蓋の開閉、シート（ウェットティッシュ）の取り出し作業を片手で簡便に行うことが難しく、使い勝手の良いものではない。

【0003】そこでウェットティッシュの使い勝手を改善する目的でウェットティッシュを収納したピロータイプの封入袋に取出し口を設け、粘着ラベルを貼っておき、使用時にはこのラベルを剥がし、別に射出成型したプラスチック製容器の中に前記封入袋を入れ、プラスチック容器で取出しの作業性を改善するものがある。

【0004】また、同様の目的で前記封入袋に、別に射出成型したプラスチック製の蓋を直接貼付けしたものである。

【0005】しかし射出成型したプラスチック部材同士の接触により得られる気密性は充分と言えるものではなかった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記のウェットティッシュ包装容器の密封性を弾性部材を用いることにより改善し、かつ使い勝手の良いものが得られるようにすることにより所期の目的を収めたものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明はピロータイプのウェットティッシュ封入袋に適用されるプラスチック製の容器又は蓋の取出し用の開口を設けた本体部材とこれを覆うように設置された開閉部材からなっているウェットティッシュ取出口構造において、上記の本体部材と開閉部材の開閉接触部に弾性部材を介在させることによりウェットティッシュ包装容器の密封性を改善したものである。

【0008】上記においてウェットティッシュを収納したピロータイプの封入袋はこれに取出し口を設けると共に粘着ラベルを貼っておき、使用時にこのラベルを剥がし、別に射出成型したプラスチック製容器の内に封入袋を該容器の取出口構造と封入袋の取出し口とが相対面するように入れる。

【0009】またはウェットティッシュを収納したピロータイプの封入袋に取出し口を設けこれに粘着ラベルを貼っておき、使用時にこのラベルを剥がし、別のプラスチック

ック製の蓋を前記封入袋にその取出口を覆うように直接貼付けるようにしてもよい。

【0010】本発明の実施に当って弾性部材は開閉部材側あるいは本体部材側のいずれか一方もしくは双方に設けることができる。本発明は開閉部材に環状突起を設け、この環状突起と本体部材のいずれか一方もしくは双方に弾性部材を取付け、本体部材と開閉部材との間に弾性部材を介して取出口用の開口の開閉接触面を形成させることができる。

【0011】又本発明は本体部材に環状突起を設け、この環状突起と本体部材のいずれか一方もしくは双方に弾性部材を設け、本体部材と開閉部材との間に弾性部材を介して取出口用の開口の開閉接触面を形成させることができる。

【0012】更に又本発明は本体部材と開閉部材の双方に取出口用の開口の開閉時に互いに嵌合関係にある環状突起を相対的に設け、両部材の環状突起間に弾性部材を設置することができる。

【0013】上記の弾性部材は本体部材の環状突起あるいは開閉部材の環状突起のいずれか一方もしくは双方に取付けることができる。

【0014】弾性部材は天然ゴムまたはSBR、NBR、シリコン系、ウレタン系その他の合成ゴムあるいは硬度の柔らかい軟質プラスチック等からなる。弾性部材が硬度の柔らかい軟質プラスチックからなる場合、この軟質プラスチック製弾性部材は射出成型したプラスチック製容器又は蓋の本体部材もしくは開閉部材と一体成型的に形成することができる。

【0015】本発明で言うピロータイプのウェットティッシュ封入袋とは、水、有機溶剤、薬液、化粧液等を含浸せしめた紙もしくは不織布を多数任意形状に積層して必要に応じて金属シートを内貼りした軟質プラスチックシート製の袋に収納封入したもの等市販のウェットティッシュを収納した軟質包装体（封入袋）を総称する。

【0016】以下に本発明の実施例を示すが、これは例示のためであって本発明を限定するものではない。

【実施例】＜実施例1＞図1および図2は射出成型したプラスチック製の容器を示し、取出口用の開口（1）を設けた本体部材（2）と、これを覆うように設置された開閉部材（3）とからなっていて、この開口（1）から図示しないピロータイプのウェットティッシュ封入袋をその取出口が開口（1）に相対面するように本体部材（2）内に収納し、図示のように開閉部材（3）で開口（1）を覆って閉じる。開閉部材（3）は通常ヒンジ機構等によって本体部材（2）に取付けられている。

【0017】上記のピロータイプのウェットティッシュ封入袋を射出成型、ブロー成型、真空成型等で成型したプラスチック製の容器に収納するに先立ってピロータイプの封入袋に設けられた取出口に貼合された取出口の開閉用の粘着ラベルはこれを剥がしておく。かくするこ

とにより開閉部材（3）を開閉するのみで本体部材（2）内に収納されたピロータイプのウェットティッシュ封入袋から直接ウェットティッシュを取出すことができる。

【0018】図1のものが射出成型したプラスチック製の蓋である場合も容器である場合と同様に読み換えることができる。即ち蓋の場合には本体部材（2）はその深さ（厚み）を小さくしたしかも底のない形状とし、この本体部材（2）でピロータイプのウェットティッシュ封入袋の取出口を覆うようにウェットティッシュ封入袋上に接着固定すればよい。

【0019】図1および図2において（4）は開閉部材（2）の内面に設けられた環状突起（筒状突起）で、本体部材（2）の開口（1）に周設した環状陥凹部（5）と相対して開口（1）の開閉構造を形成している。

【0020】図3は本体部材（2）の環状陥凹部（5）と開閉部材（3）の環状突起（4）の先端との閉鎖時（本体部材（2）の開口（1）を開閉部材（3）で閉じた状態を指す）における関係を示す状態図であって、図3では環状突起（4）の先端に弾性部材（6）を取付けて本体部材（2）と開閉部材（3）との開閉時の接触部に弾性部材（6）を介させることによって気密性を改善した例である。

【0021】本例の場合、開閉部材（3）によって本体部材（2）の開口（1）を覆うと開閉部材（3）の環状突起（4）の接触面に取付けた環状配置の弾性部材（6）が本体部材（2）の環状陥凹部（5）の接触面に弾性的に押圧され、封入袋の気密性が保証される。

【0022】上記において本体部材（2）と開閉部材（3）の取出口用の開口（1）の開閉時に両者の嵌合関係を臨時的に保持するスナップ機構を本体部材（2）および／または開閉部材（3）に設けることが好ましい。なお環状突起（4）と環状陥凹部（5）との相対面する側壁間やこれに上記の弾性部材（6）を組合せて上記のスナップ機構を代替することも可能である。

【0023】＜実施例2＞図4は実施例1において弾性部材（6）を本体部材（2）に取付けた場合に相当する。本体部材（2）の開閉部材（3）による閉鎖時に環状突起（4）の先端から衝合する本体部材（2）の個所に弾性部材（6）嵌合用環状溝を設け、この環状溝に弾性部材（6）を密嵌する。閉鎖時には開閉部材（3）の環状突起（4）の先端が本体部材（2）の環状陥凹部（5）に固定した環状の弾性部材（6）上に衝合し、両部材（2）（3）間の気密性が保証される。

【0024】＜実施例3＞図5は実施例1において開閉部材（3）の環状突起（4）と本体部材（2）の環状陥凹部（5）の双方に相対して対の弾性部材（6）（6）を取付けた場合に相当する。

【0025】＜実施例4＞図6は本体部材（2）の開口（1）を囲んで環状突起（4）を隆起形成し、この環状

突起(4)の先端に開閉部材(3)の内面を衝合して両部材(2)(3)を開閉する構造であって、両部材(2)(3)の開鎖時の衝合面である環状突起(4)の先端とこれに対する開閉部材(3)の内面に実施例3の場合と同様にして相対して弾性部材(6)を取付ける。

【0026】<実施例5>図7および図8は本体部材(2)および開閉部材(3)の相対向する双方の面に側壁面が内外に相対向して嵌合する関係にある環状突起(4)(4)を設け、それらの嵌合面間でいずれか一方の環状突起(4)に弾性部材(6)を設置した例を示す。

【0027】図7は開閉部材(3)の環状突起(4)を内側に、本体部材(2)の環状突起(4)を外側に夫々設け、本体部材(2)の外側環状突起(4)の内側に弾性部材(6)を環状に取付けてある。これによりこれら環状突起(4)(4)が弾性部材(6)を介して密に嵌合関係を探ることができる。図8は図7とは逆に本体部材(2)の環状突起(4)を内側に、開閉部材(3)の環状突起(4)を外側に配置した例で、本体部材(2)の環状突起(4)の外側に弾性部材(6)が取付けられている。

【0028】本体部材(2)の環状突起(4)の嵌合面(図7では内側、図8では外側)はテーパ面をなし、両部材(2)(3)の各環状突起(4)(4)は介在する弾性部材(6)によるバックリングは効果と、上記のテーパ面によるテーパ嵌合効果によってより強固な気密度合が保証される。

【0029】

【発明の効果】ウェットティッシュ包装容器は射出成型し

たプラスチック製の容器又は蓋の取出し用開口を設けた本体部材とこれを覆うように設置された開閉部材からなり、本体部材と開閉部材の開閉接触部に弾性部材を介在させることにより密封性が改善された。

【図面の簡単な説明】

【図1】 射出成型したプラスチック製の容器の外観図である。

【図2】 射出成型したプラスチック製の容器の外観図である。

【図3】 本体部材の環状陥凹部と開閉部材の環状突起の先端との閉鎖時における関係を示す状態図である。

【図4】 弾性部材を本体部材に取付けた図である。

【図5】 開閉部材の環状突起及び本体部材の双方に弾性部材を取付けた図である。

【図6】 環状突起の本体部材側及び開閉部材双方に弾性部材を取付けた図である。

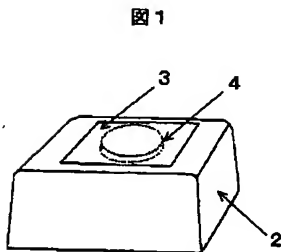
【図7】 本体部材及び開閉部材の双方に夫々相対向する環状突起を設け、何れか一方の環状突起に取付けられた弾性部材を設置した図である。

【図8】 本体部材の環状突起が外側に開閉しこの環状突起が内側に相対向して嵌合関係にある図である。

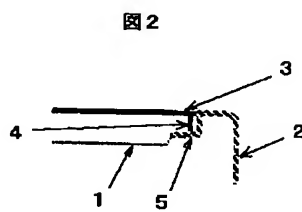
【符号の説明】

1. 開口
2. 本体部材
3. 開閉部材
4. 環状突起
5. 環状陥凹部
6. 弾性部材
7. 環先端

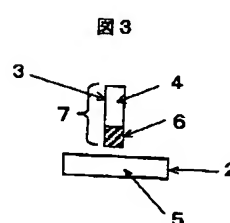
【図1】



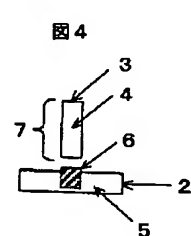
【図2】



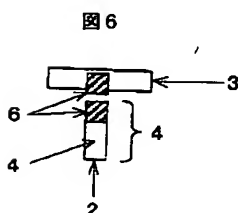
【図3】



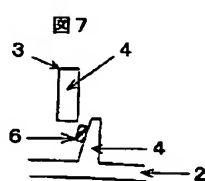
【図4】



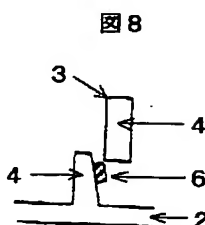
【図6】



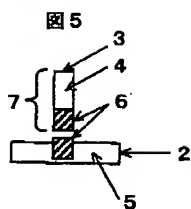
【図7】



【図8】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 林 伸匡
東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社
クレシア内

Fターム(参考) 3E014 LB02

WET TISSUE PACKAGING CONTAINER WITH IMPROVED SEALABILITY

Patent Number: JP2001225879
Publication date: 2001-08-21
Inventor(s): ISHIBASHI NORIYUKI; MATSUBARA HIROAKI; HAYASHI NOBUMASA
Applicant(s): CRECIA CORP
Requested Patent: ☐ JP2001225879
Application Number: JP20000039188 20000217
Priority Number(s):
IPC Classification: B65D83/08
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wet tissue packaging container which is excellent in sealability and can be easily used.

SOLUTION: For a wet tissue take-out port structure comprising a main body member formed of a plastic container and a lid with a port for taking out formed of an opening/closing member for covering the main body member both of which are applied for a pillow type pouch enclosing wet tissues, an elastic member is interposed between the main body member and the opening/ closing member, and thereby sealability is improved for the wet tissue packaging container.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

